

10月1日(土)・大会1日目 10:00~11:20 (B会場：1002) (80分)

●セッション【2】

「SDGsにおける消費者」

西尾チヅル氏(筑波大学大学院人文社会ビジネス科学研究科教授)
水越康介(東京都立大学経済経営学部教授)
増田明子氏(専修大学商学部教授)
*大平修司(武蔵大学経済学部教授)

*セッション・リーダー

[概要]

本セッションでは、「SDGsにおける消費者」について、マーケティングや消費者行動を専門としている研究者が議論する予定です。まず西尾先生から「消費者のエコロジー意識や行動に対するコロナ禍の影響」というタイトルでご報告いただきます。次に水越先生から「責任ある消費者の構築：応援消費の広まりについて」というタイトルでご報告をいただきます。さらに増田先生と大平先生から「ボランタリー・シンプリシティと消費」というタイトルでご報告をいただきます。最後に、フロアの参加者も含めてそれぞれのご報告について質疑とディスカッションを行う予定です。

[参加者へのメッセージ]

このセッションでは、SDGsの目標の12番目「つくる責任つかう責任」に関して消費者の視点から議論いたします。現在の日本社会にエシカル消費が普及しつつあります。エシカル消費とは、消費を通じて社会的課題を解決することを意味しております。こういった消費の始まりは環境問題の解決、つまり環境配慮型商品の購入にあります。現在はその範囲が広がり、寄付つき商品などの購入や応援消費までその範囲は拡大しております。本セッションは、組織学会ではあまり議論されない消費者に関する議題です。